

本日御議論いただきたい事項

廃棄物等の不適正輸出対策の強化について (資料3-1 関係)

- これまでの廃掃法・バーゼル法に係る関連の取組状況について、どのように評価されるか。
- 雑品スクラップ等輸出の取締り
 - 悪質事案やシップバック事案への対応を想定した場合、現行の関連法令における制度的課題は何か。
 - 関係法令における規制対象物への判断基準明確化を検討する際、特にどのような判断要素（例：性状（有害性）、即物判断の可能性等）に着目し、どのような調査を進めるべきか。
- 中古品判断基準の見直し
 - 税関における輸出者自身による証明を促すため、こういった仕組みの整備が考えられるか。
 - 修理を伴う輸出に関して、確実に中古品販売目的であること、残さが適切に取り扱われること等を担保するためには、どのようなルールづくりが必要か。
 - シップバック事案への対応を想定した場合、現行の関係法令における制度的課題は何か。

循環資源の越境移動の円滑化について (資料3-2関係)

- これまでの廃掃法・バーゼル法に係る関連の取組状況について、どのように評価されるか。
- 循環資源の越境移動の円滑化に係る様々なニーズに対応するにあたり、現行の関連法令における制度的課題は何か。
- 特に、以下のニーズについては、今後どのような調査や検討を進めるべきか。
 - ①電気部品の輸入円滑化
(例：国内処理状況や諸外国での運用状況等)
 - ②試験目的の輸出
(例：残さの取扱い等の条件付け)
 - ③規制対象外であることの証明
- 上記①～③以外に、把握が必要と考えられるニーズや課題はあるか。

廃棄物等の越境移動等の適正化全体 に関する課題について

- 廃掃法・バーゼル法の輸出入等に係る取組について、第三次循環型社会形成推進基本計画（以下「循環基本計画」という。）を実施する観点からどのように評価されるか。
- バーゼル条約遵守の観点から、近年の活発な資源循環、関連する国際動向を踏まえ、現行の関連法令における制度的課題は何か。
- こうした検討の際、循環資源にまつわるどのような要素（例：種類、性状、処分方法・施設等）を考慮することが有効と考えられるか。
- 循環基本計画で掲げられた取組に追加して考慮すべき事項はないか。